



えり高進路だより

北海道えりも高等学校
進路指導部 第5号
発行：令和7年1月31日
文責：川端 真莉亜

令和7年度大学入試共通テストを終えて…

1月18日(土)、19日(日)の2日間、令和7年度大学入学共通テストが実施され、本校から2名の生徒が試験に臨みました。今年度は全体的に思考力や判断力を問う問題が多く出題される傾向にありました。化学では清少納言の『枕草子』から抜粋した記述が解答の選択肢に含まれているという問題が出題されました。他にも、日本史探究では松本清張に関する問いの中に、長谷川町子の『意地悪ばあさん』の4コマ漫画を読み取って考える問題が出題されていました。このように、教科横断的に学ぶことや身近な題材から読み解くことが重要視されています。全教科・科目の問題はネット等で閲覧できます。気になった人は見てみると良いでしょう。

では、このような問題が出ても焦らずに解くには、どのような対策をしていけば良いのでしょうか。



対策を教科の先生に聞きました！

国語

評論や小説によく出る漢字や語句、古文単語・文法、漢文の句法といった知識面は3年生になってからではなく、今のうちからやっておきましょう。また、文章を読むうえで大切なこと(例えば評論の指示語、接続語)もあります。それは参考書や教員の力を借りると良いでしょう。共通テストは評論、小説、実用的な文章、古文、漢文を90分で解かなければなりません。日頃から長い文章に触れる習慣(読書や模試)があると3年生になってから焦らず勉強ができるかなと思います。どちらにしても日々の継続が高得点の鍵になります。自分ができそうなレベルからコツコツ取り組んでみましょう！！



英語

今年の共通テストの総語数は5680語あり、対応できる語彙力が必要不可欠になります。教科書の単語を覚えることはもちろん、単語帳を使用し1日〇語覚えるなど目標を設定しコツコツ覚えていきましょう。また、文法については高校文法も大切ですが、実は基礎となる中学文法の方が大切です。もし中学校で学習した内容に不安があったら、つまずいたところまで遡って学習し直す必要があります。基礎力という土台ができていないとその上に何も積み上げることができません。そして、共通テストの出題パターンは模試とほぼ同じです。模試を受験するとともに、過去の模試にも取り組み、事前に「試験慣れ」をしておくことが大切です。そして、大量の英文を落ち着いて読む力を身につけていきましょう。



数学

- ・問題の難易度は高くはないですが、時間が足りなくなる可能性が高いので日頃から速く・正確に解く練習をしておくこと！
- ・公式の意味を詳しく理解し(図形的な意味など)、他者に説明できるレベルにしておこう！
そのためには、「過去問」を解いてみたり、「共通テスト模試」を受けたりすることで練習することができます。(過去問は進路室にあるので活用してみよう。)



どの教科・科目も授業を受けることで基本的な知識や考え方を得ることができます。毎日の授業を大切にしながら基礎力を上げていきましょう。そして、講習などを活用して躓いたところを教わったり実戦問題に挑戦したりしましょう。また、自分の志望する学校の問題を分析したり出題パターンに慣れたりすることが大切です。そのためには、過去問を解いたり模試を受けたりすることをおすすめします。

後悔しないために自分の生活を見直そう！

ベネッセが、受験を経験した大学生の保護者等に「高1・2でしておけばよかったこと」をテーマにアンケートをとっています。中でも多かった2つ意見を紹介します。

1つ目は「早めに学習習慣をつけておけばよかった！」です。受験は1年生や2年生で学んだ知識を活かす教科・科目が多いですよね。普段から授業の内容を定着させておけば、3年生になってから「全然、覚えてない！！」と焦ることは少なくなります。そのため、今のうちから学習習慣を身につけておきましょう。

2つ目は「勉強に集中できるよう、スマホのルールを確立すればよかった！」です。つい手にとってしまうのがスマートフォンです。動画やSNSをチェックしているうちに長時間経ってしまい、やりたいことができなかったという経験をしたことがある人は多いのではないのでしょうか。このようなことを防ぐためにはルールをつくることをおすすめします。例えば、「勉強中は通知をオフにする」や「1日1時間まで」等があります。はじめは無理のない範囲でルールをつくり、スマートフォンと向き合ってみるのはどうでしょうか。



みなさんの未来の

姿を想像してみましょう

